

第二期兵庫県地域創生戦略（2020～2024）

進捗状況の評価・検証

令和4年8月

兵庫県計画課

評価体系

【概要】

戦略の枠組を踏まえた総合的な評価を行うため、戦略目標、重点目標、施策・事業のそれぞれの達成に密接に関連するK P Iを策定し体系化させることで、その関連性や達成度を明確化し評価する。

【体系】

① 目標に応じた指標の設定による戦略目標の評価

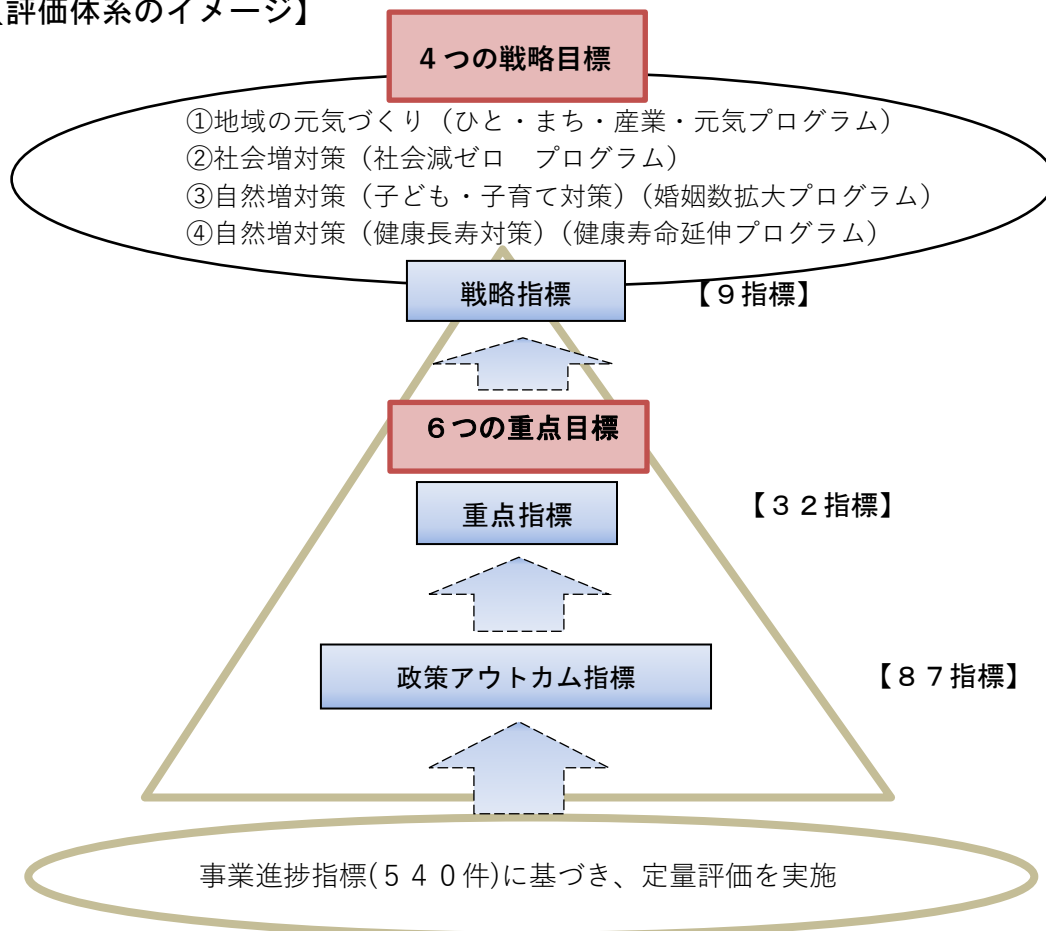
評価にあたっては、4つの「戦略目標」毎に達成すべき指標を『戦略指標』とする。また、「戦略目標」の実現に向けて目指すべき兵庫の姿を6つの「重点目標」とし、その達成状況を進行管理するK P Iを『重点指標』とする。

あわせて、『重点指標』の達成に大きく影響を及ぼすK P Iを『政策アウトカム指標』として位置付け、施策の成果との関連性を明確にする。

② 事業進捗指標の設定による関連事業の定量評価

戦略指標、重点指標、政策アウトカムの3つの指標と戦略に基づく具体的な事業との関連性を明確化するため、事業に関連するK P Iを『事業進捗指標』とし、定量評価を行う。

【評価体系のイメージ】



戦略目標の達成状況

兵庫県地域創生戦略（2020～2024）では、「地域の元気づくり」及び「人口対策（社会増対策、自然増対策（子ども・子育て対策、健康長寿対策）」の2つの柱と4つの戦略目標を掲げ、各種取組を進めてきた。

目 標	R1	目 標 値 R 2 実績 達成率・評価	目 標 値 R 3 実績 達成率・評価	R 6 目標値		
【戦略目標Ⅰ】 地域の元気づくり ≪ひと・まち・産業 元気プログラム≫	1 県民一人あたり 県内総生産 (GDP)の伸び	R1 〔実質〕 国104.2 県 106.1 〔名目〕 国109.4 県 110.4	国を上回る 伸びの維持 〔実質〕 国99.8 県103.1 〔名目〕 国105.5 県 108.3	国を上回る 伸びの維持 〔実質〕 国102.5 県 106.8 〔名目〕 国107.3 県 109.3	国を上回る 伸びの維持	
	2 住んでいる地域 にこれからも住 み続けたいと思 う人の割合	R1	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度（R5 年度）を上回る	
		77.9%	75.9%	75.9%		
		—	97.3%・B	99.9%・B		
	【戦略目標Ⅱ】 社会増対策 ≪社会減ゼロプロ グラム≫	3 日本人の転入超 過数	R1	▲4,449人	▲2,669人	0人
			▲5,561人	▲7,268人	▲6,879人	
—			-・D	-・D		
4 20歳代前半の若 者定着率93.0% を目指す		R1	92.2%	92.4%	93.0%	
		92.0%	91.5%	91.5%		
		—	99.2%・B	99.0%・B		
5 外国人の増加数 (累計)	H27～30平均	5,000人	10,000人	25,000人		
	3,933人/年	2,413人	3,246人			
	—	48.3%・D	32.5%・D			
【戦略目標Ⅲ】 自然増対策（子ど も・子育て対策） ≪婚姻数拡大プロ グラム≫	6 合計特殊出生率	R1	1.41	1.41	1.41	
		1.41	1.39	1.36		
		—	98.6%・B	96.5%・B		
	7 婚姻件数	R1	25,000件	25,500件	27,000件	
		25,109件	21,964件	20,938件		
		—	87.9%・C	82.1%・C		
【戦略目標Ⅳ】 自然増対策（健康長 寿対策） ≪健康寿命延伸プ ログラム≫	8 平均寿命と 健康寿命の差	R1	差を縮める	差を縮める	男性:1.40未満 女性:3.13未満	
		男性:1.48 女性:3.20	(R4年度中)	(R5年度中)		
		—	—	—		
	9 運動を継続して いる人の割合	R1	73.0%	75.0%	67.2%	
		62.7%	65.5%	63.0%		
		—	89.7%・C	84.0%・C		

※ 指標の評価は、目標値に対する実績値の達成率により実施

A:100%以上、B:90%以上、C:70%以上、D:70%未満、未:実績未判明、国調査中止等

※ 指標実績のうち、該当年度において実績値が未判明のものについては、判明時期を「(日付)」で記載（以下、同様）

【戦略目標Ⅰ】地域の元気づくり

- ・ 一人あたり実質 GDP の伸びは、非製造業のプラスにより令和 2 年度から改善。国を上回る伸びを確保している。
- ・ 「住んでいる地域にこれからも住み続けたい」と思う人の割合は、ほぼ横ばいであるが高値を維持している。

【戦略目標Ⅱ】社会増対策

- ・ 令和 3 年の日本人の社会減（国際移動含む）は▲6,879 人（全国 47 位）と、足元で改善傾向が見られるものの、令和 6 年までに社会減ゼロとする目標とは乖離が見られる。
- ・ 特に、20 歳代の就職等に伴う転出に歯止めがかかっていない。
- ・ コロナ禍により、海外からの転入が激減している。

【戦略目標Ⅲ】自然増対策（子ども・子育て対策）

- ・ 女性人口の減少や晩婚化の進展に加え、コロナ禍での感染リスクへの不安などにより、令和 3 年の合計特殊出生率は前年比 0.4 ポイント減の 1.36（概数ベース）となり、平成 29 年から 5 年連続低下した。
- ・ 令和 3 年の婚姻件数も、コロナ禍により若者の出会いの機会が減少したことなどが影響し、前年比 1,026 件減の 20,938 件に止まった。

【戦略目標Ⅳ】自然増対策（健康長寿対策）

- ・ 平均寿命と健康寿命はいずれも延伸しているが、平均寿命が健康寿命以上に伸びており、その差は広がっている。
- ・ 運動を継続している人の割合はコロナ禍による影響などにより 63.0%と昨年度より 2.5%減少し、長期的にみても横ばいが続いている。

重点指標・政策アウトカム指標の達成状況

戦略目標の実現に向けては、6つの重点目標のもと、32の「重点指標」と87の「政策アウトカム指標」を設定し、主要施策の評価を実施している。

令和3年度のKPIの達成状況は、達成率90%以上（評価A・B）の割合が令和2年度で70.5%、令和3年度が68.1%となり、目標実現に向けた取組が一層求められる。なお、現時点で実績が未判明の指標も多くなっている。

項目別では、【戦略目標Ⅰ 地域の元気づくり】の「企業立地・投資の促進」や「安全安心で快適に暮らせる地域づくり」、【戦略目標Ⅱ 社会増対策】の「次代の人材が育ち、誰もが力を発揮できる地域づくり」で進捗度が高い一方で、【戦略目標Ⅱ】の「地元就職の促進」や「UJIターンの促進」、【戦略目標Ⅲ 自然増対策】の「結婚のきっかけづくり」で進捗度が低くなっている。

年 度		令和2年度					令和3年度				
評 価		A	B	C	D	未	A	B	C	D	未
戦略目標Ⅰ （地域の元気作り）	重点目標 1 幅広い産業が元気な兵庫をつくる	-	2	-	-	4	-	1	-	-	5
	重点目標 2 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる	2	1	-	3	0	1	1	-	1	3
	重点目標 3 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる	5	2	-	-	1	4	3	-	-	1
	政策アウトカム指標	24	2	7	3	11	16	7	4	2	18
戦略目標Ⅱ （社会増対策）	重点目標 4 自分らしく働ける兵庫をつくる	1	-	-	0	2	-	1	-	0	2
	政策アウトカム指標	6	1	2	4	2	3	1	3	4	4
戦略目標Ⅲ （自然増対策 子ども・子育て）	重点目標 5 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる	1	-	-	2	1	1	-	1	1	1
	政策アウトカム指標	5	3	1	3	2	3	4	0	4	3
戦略目標Ⅳ （自然増対策 健康長寿）	重点目標 6 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる	-	1	-	-	4	-	-	-	1	4
	政策アウトカム指標	2	4	0	1	4	1	2	1	1	6
合 計		46 (52.3%)	16 (18.2%)	10 (11.3%)	16 (18.2%)	31 (10)	29 (40.3%)	20 (27.8%)	9 (12.5%)	14 (19.4%)	47 (35)

※ 指標の評価は、目標値に対する実績値の達成率により実施

A:100%以上、B:90%以上、C:70%以上、D:70%未満、未:実績未判明、当該年調査非実施等

※ 未判明の合計にある（）内は、今後判明予定の指標数を記載

戦略1 地域の元気づくり (ひと・まち・産業 元気プログラム)

目標

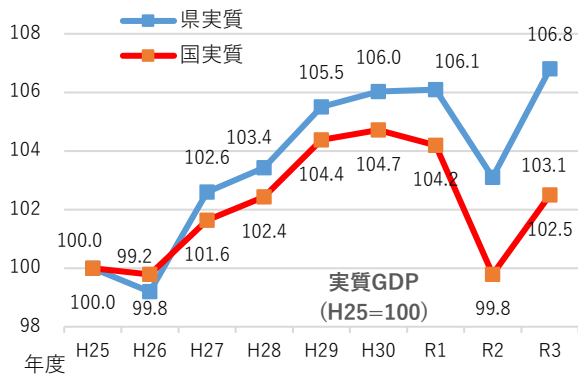
- ① 国を上回る一人当たり県内総生産（GDP）の伸びを維持する
- ② 住んでいる地域にこれからも住みつづけたいと思う人の割合が毎年度、前年を上回る

戦略目標に対する評価

一人あたりGDPの伸び 概ね国を上回る

R3実績

A

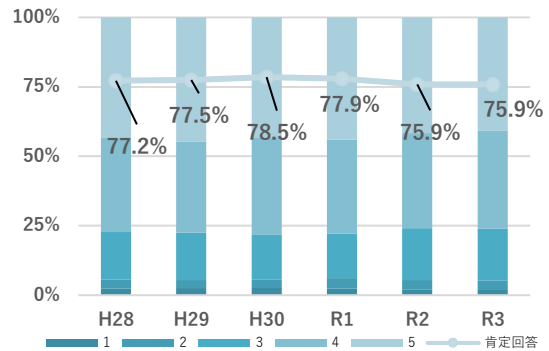


住み続けたい人の割合 高い値を維持

R3実績

B

選択肢別割合・肯定回答割合



※選択肢は5段階で高いほど肯定的

- ・一人あたり実質 GDP の伸びは、令和2年度から改善。県が国の伸びを上回った。
- ・令和3年度は「製造業」「卸売・小売業」で回復し、県全体では3.7ポイント増加。県は国に比べて製造業が占める割合が高く、第2次産業に特化した産業構造であることが、国を上回るGDPの伸びに繋がっている。
- ・住んでいる地域にこれからも住みつづけたいと思う人の割合は、昨年と同ポイントで概ね目標を達成。



起業プラザひょうごの
リニューアル



兵庫から社会課題解決を図る人材・企業を広げる
国連機関 UNOPS との連携



人事、財務経理、経営企画等の本社機能
の東京から淡路市へ移転
「(株)パソナグループ」



液化水素運搬船水素フロンティアによる
実証実験の実施

※写真提供：HySTRA



中山間地におけるドローン農薬散布の実証



多様な働き方動画ポータルサイトの創設

重点目標1 幅広い産業が元気な産業をつくる

重点指標		単位	区分	(参考) R 1	計画期間	
					R 2	R 3
1	開業率	全国 順位	目標	—	10位以内	10位以内
			実績	9位 4.51%	11位 5.17%	(R4.10月)
			評価	—	99.2%/B (10位県 5.21%)	—
2	企業立地件数	件 ⑳～累計	目標	—	1,094	1,281
			実績	894	1,051	1,262
			評価	—	96.1%/B	98.5%/B
3	農林水産業算出額	億円	目標	—	2,571	2,619
			実績	2,588	(R4.8月)	(R5.8月)
			評価	—	—	—
4	製造品付加価値額	億円	目標	—	51,283	51,795
			実績	50,786	(R5.3月)	(R6.3月)
			評価	—	—	—
5	対事業所サービス事業 所数※	社	目標	—	—	前回調査 を上回る
			実績	㉘1,085	—	(R5.3月)
			評価	—	—	—

※対事業所サービス事業所数：情報サービス業、インターネット付随サービス業の合計

※該当年度において実績値が未判明のものについては「(日付)」で記載。(以降、同様)

今後の取組方向

- 兵庫の産業競争力強化を図るため、航空宇宙、健康医療、環境・エネルギー等の成長産業を創出。地場産業の新たな展開支援等、地域産業を振興する。
- 多様な主体による起業・創業を促進するため、起業家意識の醸成、立ち上げ支援、販路拡大など、継続的に起業家を育成する環境を整備する。
- 農林水産業の基幹産業化を目指し、農業経営基盤の強化や生産の拡大、革新的技術の活用等を推進する。

項目1 兵庫の強みを活かした産業競争力の強化

(1)次世代産業の創出

事例	最先端技術研究事業の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の将来を支える産業分野の育成を図るため、産学官連携による萌芽的な研究調査や立ち上がり期の予備的、準備的な研究プロジェクトを支援する提案公募型の研究補助制度「兵庫県最先端技術研究事業（COEプログラム）」を実施 ・ 令和3年度は、DX化を推進させる新たな技術開発を支援するため、DX分野の採択枠を拡充して実施 (R3：42件採択（内DX枠：11件）)



衛星データを活用した、農地AI区画形成の実証

(2)ものづくり産業の経営基盤・技術開発の促進

事例	スマートものづくりセンターの設置
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸（R2～）、尼崎・姫路・豊岡（R3～）の4カ所に「スマートものづくりセンター」を設置。産学官連携による共同研究の促進や、先端共同利用機器を活用したAI・IoT・ロボット技術や製品の活用を視野に入れた中小企業等への技術指導・相談等を実施



企業へのロボットの導入

(3)Society5.0を牽引する産業の集積促進

事例	IT事業所開設等の支援
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報関連産業等の活性化を図るため、①多自然地域のIT事業所、②高度IT事業所、③ITカリスマによる事業所の開設を支援し、多様なIT起業家等の集積を促進（R2：12件、R3：14件） 【高度IT事業所の開設支援例】 (株)Moff（神戸市）：独自のウェアラブルセンサーによる3D動作認識技術を活用した、医療・介護等のオンラインヘルスケアサービスを展開




ウェアラブル端末「モフバンド」の導入

【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	中小企業等に対する技術移転件数	件	目標	—	800	800
			実績	780	713	671
			評価	—	89.1%/C	83.8%/C
2	県内本社企業の海外現地法人売上高	億円	目標	—	32,955	33,943
			実績	32,853	(R4.8月)	(R5.8月)
			評価	—	—	—
3	県内本社企業の海外展開数（累計）	社	目標	—	691	709
			実績	673	691	688
			評価	—	100%/A	97%/B
4	情報通信関連産業の売上高	億円	目標	—	2,238	2,293
			実績	2,409	2,599	(R5.4月)
			評価	—	116%/A	—
5	県内次世代産業の生産額等	億円/年	目標	—	6,544	6,771
			実績	5616	(R4.10月)	(R5.10月)
			評価	—	—	—

項目2 地域産業の振興


(1) 地域の中小企業の経営基盤強化

事例	相談・助言、運転資金支援等による中小企業支援
<ul style="list-style-type: none"> ・(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関とした県内 19 の支援機関と 30 の連携団体によるネットワークを構築。ワンストップで企業ニーズに対応する「中小企業支援ネットひょうご」による総合的かつ集中的な支援体制を確立 ・コロナ禍により売上が減少した中小企業の資金繰りを支援するため、令和 2 年度から無利子・無保証料である「新型コロナウイルス感染症対応資金（ゼロゼロ融資）」を中心とした各種中小企業融資制度を実施 (R2:62,104 件 R3:13,539 件) ・県内中小企業者が直面している資金繰りの状況やポストコロナにおける地域金融のあるべき姿について、県内金融機関との意見交換を実施 	
	
県内金融機関との意見交換会の様子	

(2) 地場産業の新たな展開への支援

事例	地場産業の持続・活性化への支援
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により被害を受けた地場産業の持続的発展に向け、県内産地組合による「新しい生活様式」(ひょうごスタイル)での活用が期待される新技術開発、販路開拓等の取組を支援 (R2:16 件、R3:18 件) ・具体的には、感染症拡大防止に資する、抗ウイルス素材を用いた新製品開発やオンラインなど非接触手段による販路開拓、サーモカメラの設置など事業所の環境整備を支援 	
	
抗ウイルス素材を用いた播州そろばん知育玩具	

(3) 商業業務機能の集積促進


事例	姫路駅周辺の再整備などまちづくりと一体となった商業機能の集積
<ul style="list-style-type: none"> ・姫路駅周辺では、にぎわいとうるおいの交流都心をめざす「キャスティ 21」計画に基づき、医療・文化機能の統合・集積など、まちづくりと一体となった商業拠点機能の充実を推進 ・「兵庫県立はりま姫路総合医療センター」や姫路駅北側の交流広場・半地下式庭園の整備を進めるなど、更なる高次都市機能の集積を促進 	
	
はりま姫路総合医療センターの整備	


【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	県内中小企業の 1 企業あたり売上高の増加率	%	目標	—	対前年 1%増	対前年 1%増
			実績	1.7%増	(R4.8 月)	(R5.8 月)
			評価	—	—	—
2	地場産業の生産額(主要産地)	億円	目標	—	2,700 維持	2,700 維持
			実績	2,382	(R5.1 月)	(R6.1 月)
			評価	—	—	—
3	商店街活性化等によるしごと創出数(累計)	人	目標	—	95	190
			実績	122	76	90
			評価	—	80%/C	47.4%/D

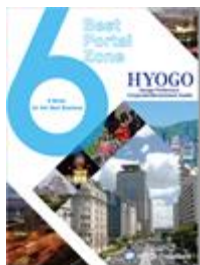
項目3 企業立地・投資の促進

(1) 雇用拡大につながる企業誘致の促進

事例	産業立地条例による企業立地の促進	
	<ul style="list-style-type: none"> 産業の活性化と雇用の創出を図るため、産業立地条例による本社機能（本社・研究所等）等の立地支援や、不動産取得税・法人事業税の軽減、設備投資・賃料・雇用補助を実施（補助件数 R 2：50件、R 3：67件） 	 <p>本社機能を東京から淡路市へ移転「(株)パナソニックグループ」</p>

事例	市町と連携して取り組む産業拠点の整備	
	<ul style="list-style-type: none"> 企業立地の促進や雇用の創出など地域創生を推進する観点から、市と共同して新たな産業団地を整備 市が道路、上下水道、公園などの関連インフラ整備を行い、企業庁が産業用地の造成及び企業誘致、分譲を実施 「ひょうご小野産業団地」の整備や「ひょうご情報公園都市」（三木市）次期工区に着手 	 <p>ひょうご小野産業団地の整備</p>

(2) 世界から選ばれる投資環境の整備


事例	外国・外資系企業立地を促進	
	<ul style="list-style-type: none"> 最先端科学技術基盤や産業の集積、交通の利便性といった本県の立地優位性に加えて、産業立地条例に基づく国際経済地区への優遇措置により、外資系企業の立地促進（外国・外資系立地件数 R 2：118件、R 3：131件） <p>【令和3年度進出事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンドリッツ(株)（オーストリア）[製紙工場のプラント整備販売] 医療革新国際連携(株)（中国）[医療コンサルティング] 	 <p>外資系企業立地促進のパンフレット</p>


【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	企業立地件数（本社機能・事務所数）（H27～累計）	件	目標	—	225	272
			実績	198	259	338
			評価	—	115.1%/A	124.3%/A
2	企業立地件数（外国・外資系）（H27～累計）	件	目標	—	142	167
			実績	111	118	131
			評価	—	83.1%/C	78.4%/C
3	企業立地件数（IT事業所）（H27～累計）	件	目標	—	64	76
			実績	13	52	66
			評価	—	81.3%/C	86.8%/C
4	企業立地によるしごと創出数（本社機能・事務所）（H27～累計）	人	目標	—	1,646	1,920
			実績	1,783	2,290	2,917
			評価	—	139.1%/A	151.9%/A


項目4 起業・創業の適地ひょうごの実現

(1) 有望な起業家の成長支援、

事例	起業プラザひょうごの機能充実	
	<ul style="list-style-type: none"> 「起業プラザひょうご」を、令和2年9月に三井住友銀行神戸本部ビルに移転し、県内コワーキング施設運営者・利用者の情報交換・相互連携を推進 同プラザの成果や起業機運を全県に波及させるため、令和2年7月、姫路市、尼崎市と連携したエリア拠点を設置 	 <p>起業プラザひょうご（神戸）</p>

事例	UNOPS S3i イノベーションセンター・ジャパンとの連携	
	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年11月、アジアでは初の「UNOPS（国連プロジェクト・サービス機関）S3i イノベーションセンター・ジャパン」を神戸市と共同で三井住友銀行神戸本部ビルに誘致 神戸市、UNOPS と連携し、グローバルなSDGsの課題解決を目指す共創プログラム「SDGs CHALLENGE」を実施 	 <p>SDGs CHALLENGE の最終デモデイ</p>

(2) 多様な主体による起業・創業の更なる支援


事例	県内大学と連携した起業人材の育成	
	<ul style="list-style-type: none"> イノベーションを自ら創出できる力を持ったグローバル人材を育成するため、令和2年10月より、県・神戸市および神戸大学が連携して「グローバル・アントレプレナー育成プログラム」を開講 令和3年10月からは、起業プラザひょうご(神戸、姫路)と連携し、テクノロジーに軸足を置いた兵庫県立大学による講座を開催し、メンタリングを組み合わせた若者向けの伴走型支援を実施 	 <p>グローバル・アントレプレナー育成プログラムの様子</p>

【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	開業事業所数(経済センサス)	件	目標	—	—	15,700
			実績	⑳11,287	—	(R5.6月)
			評価	—	—	—
2	開業事業所数(単独事業所)(経済センサス)	件	目標	—	7,000	7,000
			実績	⑳2,890	—	(R5.6月)
			評価	—	—	—
3	開業事業所数(本所・本社・本店)(経済センサス)	件	目標	—	1,600	1,600
			実績	⑳891	—	(R5.6月)
			評価	—	—	—
4	起業プラザひょうごの会員数(エリア拠点含)	人	目標	—	150	150
			実績	92	145	(R4.9月)
			評価	—	96.7%/B	—
5	コワーキングスペース開設件数(累計)	件	目標	—	27	35
			実績	19	28	34
			評価	—	103.7%/A	97.1%/B

項目5 農林水産業の基幹産業化の推進


(1) 農業の経営基盤の強化

事例	スマート農業の推進
<p>・農作業の省力化や労働環境の改善、農業経営の安定化を目指すため、産地の課題と企業が持つスマート技術情報のマッチングの推進、スマート農機導入時の収量等の比較による技術実証や農機導入支援を実施</p>	
	
ドローンによる播種の実演	


(2) 収益性の高い林業の推進

事例	主伐による原木の安定供給や再生林の推進
<p>・主伐による持続的な原木供給と、その後の再生林や保育を確実に実行するため、低コストで効率的な「主伐・再生林低コスト普及モデル」の構築に向け、施業にかかるコスト等のデータ収集・分析を実施（R2：15ha、R3：34ha）</p>	
	
主伐地（朝来市山東町）	

(3) 水産業の経営強化

事例	沖合漁業の経営維持
<p>・収益性の劣る老朽船解消のため、燃料費など操業コストの削減や漁獲物の付加価値向上、船員の定着を図るための就労環境の改善などに必要な装備を取入れた改革型漁船の建造を推進（R2：2件、R3：1件）</p>	
	
令和3年6月に竣工した沖底漁船	

(4) 兵庫の農林水産物のブランド力強化

事例	ひょうごの「農」「食」輸出拡大の促進
<p>・海外における日本食人気の広がり等を県産品の輸出を進める好機と捉え、香港、マレーシア、フランス、ドバイをターゲットに、百貨店等でのテスト販売やバイヤー向け商談会の開催などのプロモーションを実施（R2：39事業者、79品目、R3：27事業者、84品目）</p>	
	
百貨店にて販売会（香港）	

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	農業産出額 (畜産産出額含まず)	億円	目標	—	1,005	961
			実績	940	886	(R4.12月)
			評価	—	88.2%/C	—
2	畜産産出額	億円	目標	—	555	614
			実績	569	592	(R5.3月)
			評価	—	106.7%/A	—
3	林業・木材産業産出額	億円	目標	—	590	564
			実績	594	(R4.8月)	(R5.8月)
			評価	—	—	—
4	漁業産出額	億円	目標	—	471	450
			実績	485	488	(R5.3月)
			評価	—	103.6%/A	—
5	海外市場開拓数 (品目毎累計)	国・地域	目標	—	150	160
			実績	143	153	163
			評価	—	102.0%/A	101.9%/A

重点目標2 内外との交流が活力を生む兵庫をつくる

重点指標		単位	区分	(参考) R 1	計画期間	
					R 2	R 3
1	県内観光受入客数	万人	目標	—	14,500 うち外国人 235	14,800 うち外国人 270
			実績	13,651 うち外国人 193	7,832 万人 外国人は調査未実施	(R4.9 月)
			評価	—	54.0% / D	—
2	県内観光消費額	億円	目標	—	14,200	14,700
			実績	13,114	6,821	(R4.9 月)
			評価	—	48.0% / D	—
3	宿泊者数 (延べ人数)	万人	目標	—	1,450 うち外国人 165	1,500 うち外国人 190
			実績	1,442 うち外国人③137	898 うち外国人 18	879 うち外国人 5
			評価	—	61.9% / D 外国人 10.9%	58.6% / D 外国人 2.6%
4	来訪者満足度	%	目標	—	72.0	73.0
			実績	62.6	72.9	66.1
			評価	—	101.3% / A	90.5% / B
5	リピーター率 (再訪意向率)	%	目標	—	52.0	53.0
			実績	③50.0	53.5	58.5
			評価	—	102.9% / A	110.4% / A
6	一日あたり県内来訪者数	千人	目標	—	373	381
			実績	353	336	(R5.5 月)
			評価	—	90.1% / B	—


※対事業所サービス事業所数：情報サービス業、インターネット付随サービス業の合計)

今後の取組方向



- 万博を契機として県内外からの誘客を促進。県内各地でのひょうごフィールドパビリオンの展開に向けて多様な地域資源を掘り起こす。体験コンテンツの造成と兵庫五国のブランド力強化を図り、効果的なプロモーションを展開することで地域内の消費に結びつける。
- 定住人口に加え、人口が減少し活力が失われつつある地域と、地域にゆかりのある人をつなげることにより、新たな地域の担い手となる関係人口を創出する。
- ポストコロナ社会に向けて、大都市から兵庫への流れを確かなものにするテレワークや二地域居住等の新しい働き方や暮らし方を推進する。

項目6 地域資源を活かした交流人口の拡大



(1) 県内外からの誘客促進

事例	観光産業の再生と活性化に向けた支援
<ul style="list-style-type: none"> 「Re-DISCOVER HYOGO（ひょうご再発見）」をコンセプトに、雑誌やテレビ、FMラジオ、SNSなどの多様なメディアを活用した情報発信を展開 コロナの影響により需要の落ち込んだ県内旅行・宿泊の回復を通じ、地域観光を支援するため、令和3年10月から県内旅行・宿泊代金等を支援する「ふるさと応援！ひょうごを旅しようキャンペーン」を実施 	
	

(2) 国際ツーリズムの促進

事例	周遊・体験等コンテンツ開発
<ul style="list-style-type: none"> 2025年大阪・関西万博のイパワードを視野に、兵庫五国の文化・産業に根差した体験型着地コンテンツを開発（R2：55件、R3：32件） 	
コンテンツ例① 西宮能楽堂・能体験 重要無形文化財総合指定保持者の梅若基徳氏が、能の歴史や衣装・道具などについて解説し、すり足、囃子などを体験	
	
能体験の様子	
コンテンツ例② 茶摘み体験（tearism（tea+tourism）） 平安時代から続く丹波茶の茶摘みを体験	
	
茶摘み体験の様子	

(3) 観光客受入基盤の整備


事例	観光拠点整備への支援
<ul style="list-style-type: none"> 築100年の古民家を一棟貸し切りで、宿泊や期間限定のカフェ・ギャラリー、ワークショップ等に活用できるゲストハウスとして改修・整備（神河町） 宿泊施設「NIPPONIA 平福宿場町」向かいの旧酒造場を、地元産野菜を提供するレストラン、和菓子店が入る複合施設として改修・整備（佐用町） 	
	
	
NIPPONIA 平福宿場町	

【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	あいたい兵庫キャンペーン期間中の観光客入込数伸び率	%	目標	-	110	110
			実績	107.1	94.8	(R4.9月)
			評価	-	86.2%/C	-
2	周遊・体験等コンテンツの開発件数	件	目標	-	50	80
			実績	-	55	87
			評価	-	110%/A	108.8%/A
3	海外プロモーション数(累計)	件	目標	-	61	73
			実績	49	57	66
			評価	-	93.4%/B	90.4%/B
4	観光消費拡大による雇用創出数(累計)	人	目標	-	3,627	4,988
			実績	2,076	2,076	(R4.9月)
			評価	-	57.2%/D	-

項目7 定住人口・関係人口の創出・拡大



(1) 二地域居住・都市農村交流の促進

事例	交流・関係人口の創出
<ul style="list-style-type: none"> ・丹波地域で元気に活躍する人材（たんば暮らし実践者）が、都市部の若者や子育て世帯と直接語り合う機会を増やすため、「たんば暮らしファン交流カフェ」（R2年度：44回開催/延べ362人参加、R3年度：52回開催/延べ346人参加）、「たんば暮らしセミナー」（R2年度：8種29回開催/延べ340人参加、R3年度：8種24回開催/延べ253人参加）を開催 ・多自然地域と都市部を行き来し、里山の地域づくりに継続的に関わる人材（関係人口）を創出するため、「関係人口創出・拡大スクール」を開催 	 <p>オンライン交流カフェの様子</p>

(2) 地域再生大作戦の展開

事例	都市部からの外部人材等による地域づくり活動の活発化
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年から薬草産地の丹波市和田地区と兵庫医療大学との連携により、「当帰葉」の商品開発、生産体制の確保や販路開拓など経済活動を展開。令和2年からは地域内に新たな女性グループが誕生し、離乳食から介護食を網羅するスープ開発に発展 ・地域づくり人材の確保を図るため、香美町・淡路市において、複数の仕事を組み合わせたマルチワークに取り組む特定地域づくり事業協同組合を、県内で始めて認定（令和4年4月） 	 <p>スープ開発の様子</p>

(3) 地域特性に応じた空き家等の有効活用


事例	空き家活用支援事業での改修事例
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家活用支援事業の地域交流拠点型を活用し、廃村となった佐用町若州集落の空き家を都市と農村との交流及び宿泊施設「glaminka SAYO 集落」として改修 	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>改修前</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;"> <p>改修後</p>  </div> </div>


【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	ひょうご e-県民制度登録者数	人	目標	—	50,000	65,000
			実績	31,076	52,159	74,999
			評価	—	104%/A	115.4%/A
2	地域再生大作戦取組地区の交流人口(累計)	人	目標	—	86,000	129,000
			実績	43,000	75,232	119,732
			評価	—	87.5%/C	92.8%/B
3	地域おこし協力隊活動者数(退任後も含む)	人	目標	—	190	195
			実績	178	247	278
			評価	—	130%/A	142.6%/A
4	空き家活用件数	件	目標	—	100	100
			実績	231	324	310
			評価	—	324%/A	310%/A

項目 8 交流を支える交通基盤の充実

(1) 交流を支える交通基盤の充実

事例	基幹道路ネットワーク 北近畿豊岡自動車道（日高豊岡南道路）の供用開始
<ul style="list-style-type: none"> ・但馬地域と丹波地域を結ぶ国道483号北近畿豊岡自動車道（延長70km）のうち、日高豊岡南道路6.1kmが令和2年11月1日に開通 ・令和3年8月には、北近畿豊岡自動車道と山陰近畿自動車道の早期実現促進大会が開催されるなど、魅力ある地域づくりに欠かせない基幹道路の早期整備に取り組む 	
 <p>日高豊岡南道路の開通式</p>	

事例	県内空港の活用による交流人口の拡大
<ul style="list-style-type: none"> ・関西3空港の最大活用について考えるセミナー・フォーラムの開催を通じ、3空港の魅力や可能性を広く発信することで最大活用に向けた地元気運を醸成（セミナー参加者 R3 120人） ・但馬地域の交流人口拡大を目指し、新たな航空需要を創出する臨時チャーター便を運航 （長崎空港（令和2年12月）、鹿児島空港（令和3年11月）） 	
 <p>但馬空港から長崎に出発する参加者</p>	

事例	次世代モビリティを活用した交通サービスの実証実験
<ul style="list-style-type: none"> ・播磨科学公園都市において、地域住民や来訪者の移動に対する利便性の向上と地域活性化を図るため、超小型EVなど次世代モビリティサービスの社会実装に向けた実証実験を実施 （実施時期：令和3年11月25日～令和4年2月10日） ※実証実験の一部は継続実施 	
 <p>実証実験で利用した超小型EV</p>	

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	基幹道路延長に対する供用延長割合(累計)	%	目標	-	83	84
			実績	82	83	84
			評価	-	100%/A	100%/A
2	但馬空港の旅客数	万人	目標	-	4.7	3.1
			実績	4.1	1.6	2.0
			評価	-	34%/D	67.7%/D

重点目標3 豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる


重点指標		単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	住んでいる地域は、芸術文化に接する機会があると思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	38.2%	38.2%	37.1%
			評価	—	99.7%/B	97.0%/B
2	住んでいる地域が自然災害に対して「安全」「まあ安全」だと思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	73.2%	71.8%	72.8%
			評価	—	98.0%/B	101.0%/A
3	CEFR A1 レベル相当以上(英検準2級～3級相当)の英語力を有すると思われる中学3年生の割合	%	目標	—	42.0%	44.0%
			実績	③040.8%	44.2%	41.6%
			評価	—	105.2%/A	94.5%/B
	CEFR A2 レベル相当以上(英検2級～準2級相当)の英語力を有すると思われる高校3年生の割合	%	目標	—	50.0%	50.0%
			実績	③048.5%	52.9%	53.8%
			評価	—	105.8%/A	107.6%/A
4	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	小学校：84.6% 中学校：69.7%	(全国調査中止)	小学校：80.5% 中学校：66.8%
			評価	—	—	—
5	将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合	%	目標	—	67.0%	68.0%
			実績	64.7%	68.4%	68.9%
			評価	—	102.1%/A	101.3%/A
6	住んでいる地域は、高齢者にも、障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	37.6%	42.3%	43.1%
			評価	—	112.2%/A	101.7%/A
7	住んでいる地域の自然環境は守られていると思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	47.3%	52.1%	47.5%
			評価	—	109.9%/A	91.2%/B

今後の取組方向


- 芸術文化が身近に感じられる文化力の高いまちをつくるため、県民による芸術文化活動の支援や芸術・文化に親しむ機会の充実等、「する」「みる」2つの観点から取組を進める。
- 良好で快適な生活環境を創出するため、都市のリノベーションや商店街の再生等、地域特性に応じたまちのにぎわい創出に取り組むとともに、自然環境の保全や温室効果ガス排出削減を推進し、豊かな自然と共生できる地域づくりに取り組む。
- 安全安心で生き活きと暮らせるまちをつくるため、地域医療体制や地域防犯・防災体制の充実を図るとともに、年齢、性別、障害の有無、国籍などを問わず誰もが暮らしやすい生活・就労環境、地域で支え合う支援体制の整備を進める。
- 将来を担う人づくりを推進するため、教育環境の整備、確かな学力や豊かな心の育成、大学等高等教育の充実に取り組む。

項目9 豊かな文化が息づき、にぎわいあふれる地域づくり


(1) 芸術文化が身近に感じられる地域づくり

事例	豊岡演劇祭を核とした文化芸術によるまちづくり
	<ul style="list-style-type: none"> 豊岡市において、コロナ対策を講じながら、「豊岡演劇祭ではじめる持続可能なまちづくり」をコンセプトに、令和2年9月に「豊岡演劇祭」を開催 令和3年4月には、但馬初となる4年制の県立大学、芸術文化観光専門職大学を開学
	 <p>芸術文化観光専門職大学の開学</p>

(2) にぎわいが感じられるまちづくりの推進

事例	神戸三宮雲井通5丁目地区の再開発
	<ul style="list-style-type: none"> 新たな交通結節拠点となる中・長距離バスターミナルの整備に加え、魅力・活力を創造する都市機能の集積を図るため、令和元年度から県と神戸市による調整会議を開催し、意見交換を実施 令和2年度から市街地再開発事業に着手し、令和9年度の完成に向けて事業を推進
	 <p>神戸三宮雲井通5丁目地区のイメージ</p>

(3) 豊かな環境の保全と創造


事例	豊かな海づくりの推進
	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年6月3日の「瀬戸内海環境保全特別措置法の一部を改正する法律」の成立を受け、栄養塩類管理計画の策定に取り組むなど豊かで美しい里海を目指した先進的な取組を展開 令和4年11月に兵庫県で開催する「第41回全国豊かな海づくり大会」の1年前プレイベントを令和3年10月に開催。機運醸成を図るとともに、豊かな海づくりへの取組を発信
	 <p>「第41回全国豊かな海づくり大会」の1年前プレイベントの様子</p>

【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	舞台芸術のアウトリーチ活動の実施回数	回	目標	—	73	75
			実績	65	38	60
			評価	—	52.1%/D	80%/C
2	住んでいる都市が快適で魅力的だと思う人の割合	%	目標	—	56	57
			実績	55.0	57	57.5
			評価	—	101.8%/A	100.9%/A
3	住んでいる地域で自慢したい地域の宝(風景・産物・文化等)があると思う人の割合	%	目標	—	毎年度前年を上回る	毎年度前年を上回る
			実績	51.6	55.2	54.3
			評価	—	106.8%/A	98%/B
4	人口集中地区の緑地率	%	目標	—	24.2	—
			実績	㊸24.6	24.6	— (次回 R7)
			評価	—	101.7%/A	—

項目 10 安全安心で、快適に暮らせる地域づくり

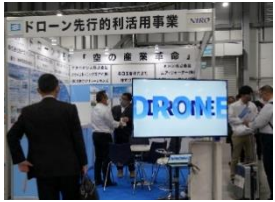
(1) 安全安心に暮らせる福祉・医療の充実

事例	ヤングケアラーへの支援など安全安心に暮らせる福祉・医療の充実
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年10月、県内最初の特別養護老人ホーム「万寿の家」の移転建替に合わせ、介護ロボット等を導入し、研修・体験拠点を整備 ケアを担う子どもたちが取り残されることがない社会の実現を目指し、令和4年2月に「兵庫県ケアラー・ヤングケアラー支援推進方策」を策定するとともに、6月には相談窓口を開設 県内に定着する医師の増加や地域偏在の解消を図るため、神戸大学、兵庫医科大学等において、へき地等勤務医師を養成し、医師が不足する地域へ派遣（R2:107人、R3:117人） 	 <p>介護ロボット活用の様子</p>

(2) 防災・減災対策の総合的推進

事例	自然災害に備える強靱な県土の構築
<ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ地震による津波に備えるため、「津波防災インフラ整備計画」に基づき、防潮堤等の沈下対策や防潮水門の整備など緊急かつ重要な津波対策を計画的に推進 平成30年7月豪雨や令和元年東日本台風等、激甚化・頻発化する豪雨災害に備え、「河川対策アクションプログラム」に基づき、河川の事前防災対策を重点的に推進 	 <p>福良港 湾口防波堤 (南あわじ市)</p>

(3) 地域生活を維持する革新的技術の普及促進


事例	ドローンや自動運転など革新的技術の普及促進
<ul style="list-style-type: none"> 播磨科学公園都市内で、全国初となるドローンのレベル3飛行（無人地帯での補助者なし目視外飛行）での鳥獣害調査を実施するとともに、東京で開催された国際ドローン展（令和3年11月24日～26日）等にブースを出展し、ドローン利活用の普及啓発を実施 播磨科学公園都市において、自動運転車など次世代モビリティの移動サービスについて、近畿経済産業局と共同で実証実験を実施 	 <p>ドローンブース出展の様子</p>

【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	へき地等勤務医師の養成数	人	目標	—	236	246
			実績	217	236	246
			評価	—	100%/A	100%/A
2	治安が良く安心して暮らせるとする人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	79.4	82.8	79.6
			評価	—	104.2%/A	96.1%/B
3	災害に備えて飲料水や食料品の備蓄をしている人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	74.4	76.4	77.7
			評価	—	102.6%/A	102%/A

項目 11 次代の人材が育ち、誰もが力を発揮できる地域づくり

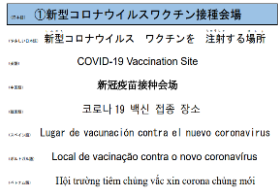
(1) 時代を担う人材を育成する教育力の強化

事例	STEAM 教育（新たな文理融合教育）の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> 国内外で活躍する「未来を創造する力を備えた人材」を育成するため、文理を横断した新しい学び（STEAM教育）を、指定校（兵庫、加古川東、豊岡）、協力校（神戸）で実施 	 <p>STEAM 特別講座（電子工作） （加古川東高校）</p>

(2) 全員活躍社会の構築

事例	障害者スポーツの推進	
	<ul style="list-style-type: none"> 「ユニバーサル社会」の実現に向けた県民の機運を醸成するため、「東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル」を開催 パラリンピックの開催を契機とし、障害者アスリートの育成・強化を図るとともに、パラスポーツ体験会事業等により競技者の裾野を拡大 	 <p>聖火トーチへの点火</p>

(3) 多文化共生社会の実現

事例	多言語による情報の発信等	
	<ul style="list-style-type: none"> ポストコロナの新しい生活様式への対応など、新たな課題への対応を盛り込んだ「ひょうご多文化共生社会推進指針」を改定 コロナ関連の情報の多言語発信のほか、ワクチン接種会場で使用する多言語表示シートの作成や AI 通訳機の配置など、外国人県民の感染予防対策を支援 	 <p>多言語表示シート</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	英語の勉強が好きだと回答した生徒の割合	%	目標	—	前年度を上回る (全国調査中止)	前年度を上回る
			実績	56.7	—	57.9
			評価	—	—	—
2	課題研究等の探究活動の研究 成果を英語で発表した生徒の 割合	%	目標	—	—	前年度を上回る
			実績	—	46.1	60.1
			評価	—	—	130.4%/A
3	キャリアノート等を中学校へ つなげている学校の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	63.1	75.6	93.4
			評価	—	119.8%/A	123.5%/A
4	企業等に勤める外部人材を招 いた授業（講演会を除く）を 実施した学校の割合	%	目標	—	—	前年度を上回る
			実績	—	53.1	55.1
			評価	—	—	103.8%/A
5	仕事と生活の調和推進企業認 定件数(累計)	社	目標	—	300	360
			実績	244	300	365
			評価	—	100%/A	101.4%/A
6	就労系障害福祉サービス利用 者数(累計)	人	目標	—	17,372	19,094
			実績	16,471	17,446	(R4.9月)
			評価	—	100.4%/A	—
7	障害者雇用率(法定雇用率)	%	目標	—	2.2	2.3
			実績	2.2	2.21	2.25
			評価	—	100.5%/A	97.8%/B
8	住んでいる地域が外国人にも 暮らしやすくなっていると思 う人の割合	%	目標	—	26	27
			実績	25.7	29.5	30.5
			評価	—	113.5%/A	113%/A

戦略2 社会増対策（社会減ゼロ プログラム）

目標

- ① 2024年までに日本人社会減ゼロを目指す
- ② 20歳代前半の日本人若者の県内定着率 93.0%を目指す
- ③ 5年間で25,000人の外国人の増加を目指す

戦略目標に対する評価

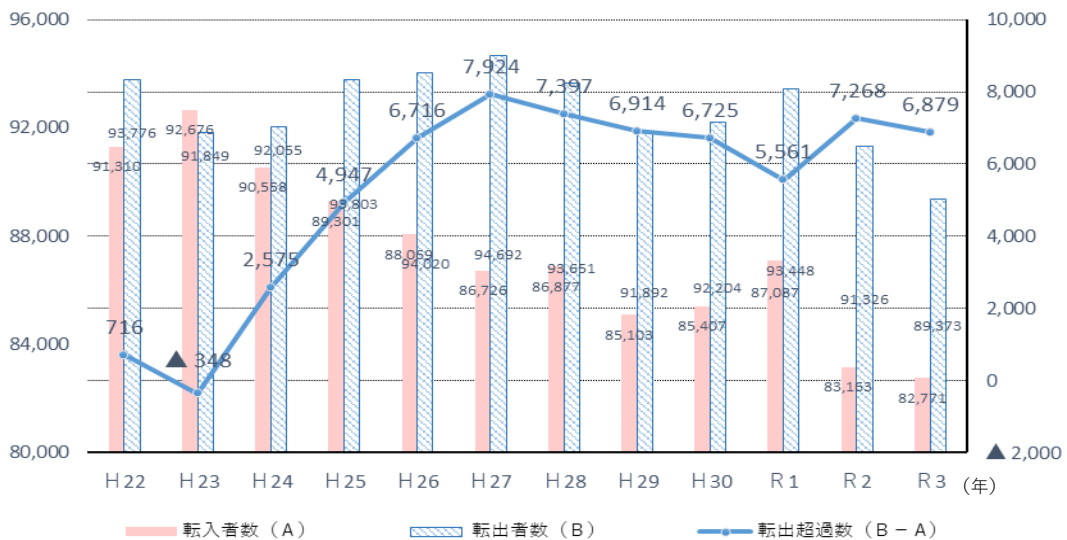
日本人の転出超過は若干改善するが、目標とは大きく乖離

令和3年度実績：▲6,879人（前年比389人）

目標：▲2,669人

R3実績

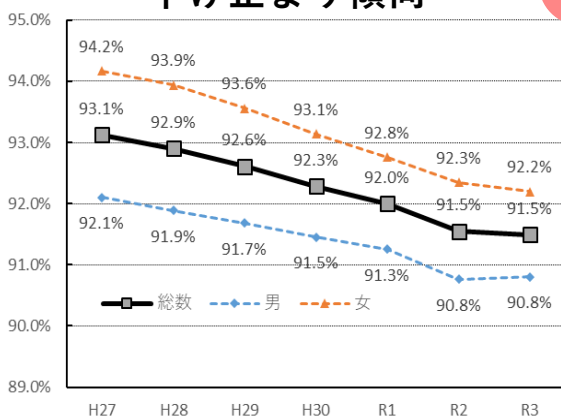
D



若者定着率は男性を中心に
下げ止まり傾向

R3実績

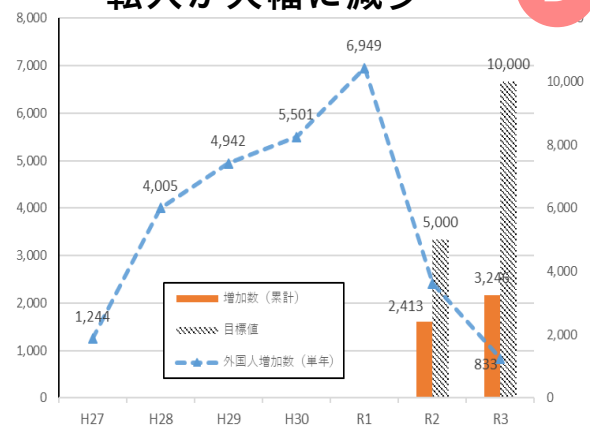
B



コロナ禍で海外からの
転入が大幅に減少

R3実績

D



- ・令和3年兵庫県推計人口における日本人の社会減（国際移動含む）は▲6,879人（全国47位）となっており、平成24年以降転出超過が続いている。
- ・20歳代の転出超過がやや改善するとともに、30～40歳代の子育て世代は2年連続で転入超過となった。
- ・新卒者の就職に伴う転出が大きな要因となり、20歳代前半の若者定着率は低下基調が続いている。
- ・コロナ禍での入国制限で留学生や技能実習生の流入が滞ったことから、外国人転入者数は低調に推移した。

重点目標4 自分らしく働ける兵庫をつくる


重点指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
				R2	R3
1 20～30歳代の若者の転入超過数(日本人)	人	目標	—	▲6,112	▲4,584
		実績	▲7,640	▲8,858	▲7,682
		評価	—	—/D	—/D
2 新たに農業、林業、漁業に就いた者の数	人	目標	—	480	375
		実績	325	R4.9	R5.9
		評価	—	—	—
3 外国人材(専門的・技術的分野、特定技能、技能実習生)の受入数	人	目標	—	19,230	23,100
		実績	19,737	21,559	21,050
		評価	—	112.1%/A	91.1%/B

今後の取組方向


- 就職を理由とする若年者の県外転出を抑制するため、県内高校や大学と連携し、学生の発達段階に応じた勤労観の醸成、早期離職抑制や県内企業への就職・定着促進に向けたキャリア教育等に取り組む。
- 自らの能力を発揮し、起業・創業を目指す若者を支援するほか、DX・GX・バイオ等の成長分野や学生等の就業ニーズが高い分野での仕事創出、企業集積を目指す。
- 若年女性の就職希望が多い事務系職種やサービス産業に加え、女性比率が低いものづくり産業等での雇用の場を創出するとともに、多様な働き方の支援や男性の家事育児参画の促進など、企業や地域と連携し、女性が活躍し続けられる環境を創出する。
- テレワークやワーケーション、二地域居住の取組を推進し、コロナ禍での暮らし方や働き方に対する価値観の変化を踏まえた、移住適地としての本県の魅力を積極的に発信する。
- 農林水産業の新たな担い手を育成するため、新規参入者の定着や経営の安定化の支援を充実するとともに、法人化や企業参入を促進し、雇用者の拡大・確保を図る。
- 高度な知識や技術力を持つ外国人や留学生の受け入れ・定着を促進するため、外国人材が持てる能力を発揮し、安心して生活できる環境の整備を進める。

項目1 地元就職の促進


(1) 県内就業意識の高揚

事例	高校・大学と連携した取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業の魅力を知り、地元企業への就職を意識づけするため、大学生等を対象としたインターンシップや、参画企業とのマッチング会を開催（参加学生 R2：394人、R3：490人） ・ 県内企業の情報を掲載した企業ガイドブックを県内高校2年生全員に配布（R2：240校（46千人）、R3：242校（47千人））。また、大学生対象のWEB版ガイドブックも作成し情報発信 		 <p>高校生向け企業ガイドブック</p>

(2) 地元企業と若者のマッチング強化

事例	若者と県内企業とのマッチング	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業の人材確保と若者の県内就職を促進するため、「ひょうごで働こう！マッチングサイト」による県内企業の求人情報や魅力を発信（マッチング件数 R2：112件 R3：214件） ・ 令和4年3月、全国初の「県ワーク・ライフ・バランス表彰企業ばかりのWEB合同説明会」を実施（企業48社、学生252人参加） 		 <p>合同説明会のチラシ</p>

(3) 女性活躍の推進

事例	女子学生のキャリアプランニング支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の県内就職を促進するため、主に大学1・2年生の女子学生を対象に就職活動前からライフプランを考慮したキャリアプランニングに取り組むことを支援するフォーラム（R2：2回、R3：2回）や個別キャリア相談（R2：15人、R3：18人）を実施 		 <p>フォーラムの様子</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	県内大学生の県内就職希望率	%	目標	—	66.0	67.0
			実績	65.5	66.0	72.8
			評価	—	100.0%/A	108.7%/A
2	県内大学卒業生の県内企業への就職率	%	目標	—	33.0	33.0
			実績	28.2	29.8	29.4
			評価	—	90.3%/B	89%/C
3	若者（20歳代）の転入超過数	人	目標	—	▲5,678	▲4,259
			実績	▲7,098	▲8,832	▲7,962
			評価	—	64.3%/D	53.5%/D
4	若年女性（20歳代）の転入超過数（上記の内数）	人	目標	—	▲2,312	▲1,734
			実績	▲2,890	▲3,697	▲3,117
			評価	—	—/D	—/D
5	中小企業における「一般事業主行動計画」（女性の活躍に関する目標・取組）の策定率（累計）	%	目標	—	50	60
			実績	3.1	4.9	17.5
			評価	—	9.8%/D	29.2%/D
6	農業分野のしごと創出数	人	目標	—	400	300
			実績	243	299	268
			評価	—	74.8%/C	89.3%/C

項目2 UJIターンの促進

(1)第二新卒者等、若年層のUJIターンの支援

事例	ひょうごで働こう！合同企業説明会等の開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により、採用手法として広まったWeb方式を用いる合同企業説明会を開催するなど、より多くの企業情報提供の場を設け、県内外の学生とのマッチング機会を創出 (R2：6回 R3：7回) ・就職活動への関わり方や県内企業の魅力を伝える「保護者向け就活応援セミナー」を開催 (R2:1回 R3:1回)



合同企業説明会の様子

事例	兵庫型滞在支援付き就業体験事業
	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏からの転職希望者等に対し、県内企業での就業体験と短期滞在をあわせて斡旋し、県内就職を促進 ・首都圏からの転職希望者には、就業体験中の短期滞在費及び事前面接・就業体験時の旅費を助成 (相談件数R3：27件)



就業体験事業のチラシ

(2)カムバックひょうごセンターを核とした移住・定住の促進

事例	移住・定住に向けた「カムバックひょうごセンター」の運営
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月、「カムバックひょうごセンター大阪サテライト」を開設。「ひょうご移住プラザ」(東京)、「カムバックひょうごセンター」(神戸)と連携したUJIターンの相談を実施 ・同年4月、「ひょうご移住プラザ」に「カムバックひょうごハローワーク」を併設し、ワンストップで移住と就労相談を実施 (移住相談件数 R2:798件 R3:1,180件、就労相談件数 R2:88件 R3:113件) ・効果的な情報発信のため、オンラインを活用した「ひょうご移住セミナー」を開催 (R2：16件、R3：49件)




東京・ひょうご移住プラザ


【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	県の支援による UJI ターン就職者数	人	目標	—	650	700
			実績	722	677	(R4.9月)
			評価	—	104.2%/A	—
2	カムバックひょうごセンター移住相談件数	件	目標	—	5,800	6,400
			実績	5,880	798	1,180
			評価	—	13.8%/D	18.4%/D
3	移住施策によって県外から転入した人の数 (累計) [県・市町の統合指標]	人	目標	—	400	800
			実績	2145	913	720
			評価	—	228.3%/A	90.0%/B
4	ひょうご e-県民登録者数 (県外)	人	目標	—	35,000	45,000
			実績	19,855	30,317	36,642
			評価	—	86.6%/C	81.4%/C


項目3 外国人材の活躍推進

(1) 高度外国人の受け入れ促進

事例	外国人留学生の県内企業への就職促進
<ul style="list-style-type: none"> 外国人留学生の高度人材としての県内企業への就職を促進するため、外国人留学生インターンシップ、日本語能力向上支援を実施 大学と企業の意見交換会や合同企業説明会を開催（R2：2件、R3：2件）したほか、令和3年度は動画配信サイトで元留学生等からのメッセージなど、就活に関する情報を多言語で発信 	 <p>インターンシップ説明会の様子</p>

事例	外国企業向け一次進出プロモーションの実施
<ul style="list-style-type: none"> 外国企業の一次進出を兵庫県に効果的に取り込むため、欧州・米国・中国において兵庫・神戸の立地環境の魅力やワンストップサービスを周知するセミナー等を実施 新型コロナウイルスの状況を踏まえ、パリ、ワシントン州、香港の3海外事務所主催のオンラインセミナーを開催（R3：3回） 	 <p>フランスに向けたオンラインセミナーの実施</p>

(2) 外国人材の県内定着の促進

事例	外国・外資系企業とのネットワーク構築
<ul style="list-style-type: none"> 令和4年2月、本県と外資系企業等とのネットワーク形成により、さらなる立地や定着を図るため、「多様性を活かした新しい働き方について」をテーマに、外資系企業代表による各社の取組の紹介や、今後の連携に向けた意見交換を実施 	 <p>外資系企業との意見交換会の様子</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	外国人材の受入数（専門的・技術的分野）	人	目標	—	7,400	8,550
			実績	7,881	8,771	10,076
			評価	—	118.5%/A	117.8%/A
2	外国人材の受入数(特定技能)	人	目標	—	2,400	4,800
			実績	50	853	2,548
			評価	—	35.5%/D	53.1%/D
3	県立大学の海外留学生数（受入人数）	人	目標	—	350	350
			実績	224	234	231
			評価	—	66.9%/D	66.0%/D
4	県内中小企業等に就職した留学生数	人	目標	—	600	600
			実績	659	854	R4.12月
			評価	—	142.3%/A	—
5	住んでいる地域が外国人にも暮らしやすくなっていると思う人の割合	%	目標	—	26.0	27.0
			実績	25.7	29.5	30.5
			評価	—	113.5%/A	113.0%/A

項目4 起業・創業支援の充実

1 - 4 再掲

項目5 企業立地・投資の促進

1 - 3 再掲

戦略3 自然増対策(子ども・子育て対策) (婚姻数拡大プログラム)

目標

- ① 2024 年まで合計特殊出生率 1.41 を維持する
- ② 結婚したいという希望を叶え、2024 年に婚姻数 27,000 を目指す

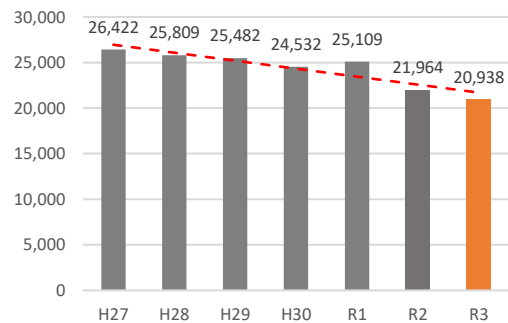
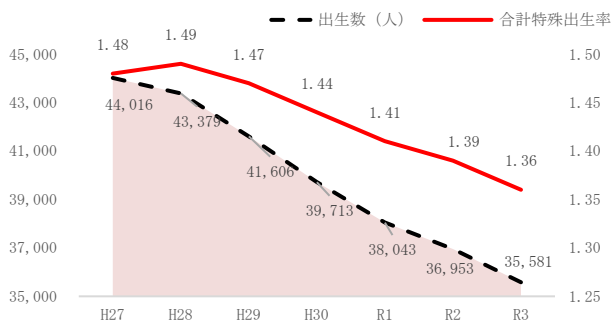
戦略目標に対する評価

合計特殊出生率は0.03ポイント
低下するも減少幅改善

R3実績
B

婚姻数はコロナ禍の影響
により前年から大幅に減少

R3実績
C



- ・合計特殊出生率は、晩婚化、晩産化等により平成 28 年度の 1.49 をピークに低下している。コロナ禍での感染リスクへの不安から、妊娠を控える動きもあり、令和 3 年は、前年比 0.03 ポイント減の 1.36 (概数ベース) となり、平成 29 年から 6 年連続で低下した。
- ・婚姻件数は、令和元年度は令和婚の影響もあり 25,109 件と前年より増加したが、令和 3 年は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年に続き減少 (前年比▲1,026 件) し、長期的にみても減少傾向にある。



出会いサポート事業の実施



妊娠SOS相談事業の実施



放課後児童クラブの開設時間の延長支援



地域で子育てを世代を応援する
ひょうご子育て応援の店事業の実施

重点目標5 結婚から子育てまで希望が叶う兵庫をつくる


重点指標	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
				R2	R3
1 結婚願望がある者の割合	%	目標	—	—	—
		実績	㊸60.5%	—	—
		評価	—	—	—
2 住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合	%	目標	—	前年度を上回る	前年度を上回る
		実績	55.4%	58.3%	58.8%
		評価	—	105.0%/A	100.8%/A
3 保育所待機児童数	人	目標	—	0人	0人
		実績	1,569人	769人	312人 (速報値)
		評価	—	50.9%/D	80.1%/C
4 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の待機児童数	人	目標	—	0人	0人
		実績	954人	1,180人	929人
		評価	—	-/D	2.6%/D

今後の取組方向


- 結婚したいと願う人の希望が叶うよう、結婚希望者のマッチングによる、多様で自然な形の出会いを提供する。
- 合計特殊出生率が大幅に低下するなか、より安心して妊娠・出産に臨むことができるよう、悩みを抱える妊婦等の孤立防止対策や、不妊治療への支援、周産期医療体制の整備など、妊娠・出産環境の整備充実を総合的に推進する。
- 結婚や子育てといったライフステージの変化に応じた多様で柔軟な働き方ができるよう、幼児期の教育・保育等を質・量ともに充実するとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進し、第2子、第3子の出産へとつなげる。

項目1 結婚のきっかけづくり

(1) 出会い・結婚支援の充実

事例	出会い・結婚支援の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・県内 10 箇所の「地域出会いサポートセンター」及び「ひょうご出会いサポート東京センター」において、各種サポート等、成婚に繋げる取組を実施（成婚数 R 2：127組、R 3：93組） ・令和2年度から、新型コロナウイルスの影響により対面でのサポートを実施しづらくなったことから、お相手探しをスマートフォンからも実施できるよう利便性を向上。また、令和3年9月には「ひょうご出会いサポート東京センター」を県東京事務所内に移転の上、オンラインのサービスも試行的に開始し、対面せずとも成婚に向けた各種サポートを提供できるよう環境を整備 	 <p>出会いイベントの開催</p>

(2) 結婚や子育てが楽しいと思える意識の醸成


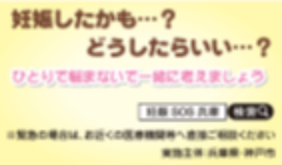
事例	若者へのライフプランニング教育の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・県と大学との地域創生包括連携協定の枠組みを活用し、県内大学生を対象に、就職・結婚・子育てを考えるライフプランニング教育の講義等を開催（R2：9回、R3：6回） ・令和3年3月、兵庫ゆかりの世界的な建築家・安藤忠雄氏を迎えた講演会を開催。WEB参加を含む800人を超える大学生に対して、自身の経歴や自らが設計した建物を例に挙げながら、結婚や子育てを含めて自らライフプランを立てることの大切さについて講話 	 <p>安藤忠雄氏講演会の様子</p>

【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	出会いイベントの参加者数	人	目標	—	7,000	7,000
			実績	4,782	1,943	2,009
			評価	—	27.8%/D	30%/D
2	出会いサポートセンター会員数	人	目標	—	5,000	7,000
			実績	4,176	3,562	3,306
			評価	—	71.2%/C	47.2%/D
3	出会い支援事業等の成婚者数等【県・市町の統合指標】	組	目標	—	355	355
			実績	530	169	137
			評価	—	47.6%/D	38.6%/D
4	20～30歳代女性の転入超過数(日本人)	人	目標	—	▲2,708	▲2,031
			実績	▲3,385	▲3,786	▲2,933
			評価	—	—/D	33.4%/D

項目2 安心して子どもを産み育てられる環境の整備

(1) 妊娠・出産の不安解消

事例	不妊や思いがけない妊娠など妊娠期から寄り添う子育て支援の充実
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年7月、予期せぬ妊娠など妊娠・出産・育児に悩みや不安を抱えた方やその家族等が、電話やメール、LINE面談、受診同行など、24時間365日安心して専門家に相談できる窓口を設置（R2：5,466件、R3：11,494件） 高額な医療費がかかる配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成するとともに、不妊の原因を早期に発見し、効果的な治療へ繋げるため、不妊治療の入り口となる検査費用について助成（R2：2,333件、R3：4,059件） 	 <p>妊娠SOS相談 ひとりでも悩まずに、すぐにご相談ください 毎日24時間 電話相談 TEL 078-351-3400 LINE相談 アカウント @inochinodaa メール相談 http://ninshinsos-sodan.com</p> <p>県内高校等に配付したカード</p>  <p>妊娠したかも…? どうしたらいい…? ひとりでも悩まずに、すぐにご相談ください</p> <p>県内高校等に配付したカード</p>

(2) 子育てや教育に係る負担の軽減


事例	乳幼児等医療費助成事業・こども医療費助成事業等の実施
<ul style="list-style-type: none"> 一定の所得以下の家庭の乳幼児等が病気やけがで医療機関等を受診した場合に、医療保険における自己負担額の一部を公費で負担する「乳幼児等医療費助成事業」（対象：小学3年生まで）及び「こども医療費助成事業」（対象：小学4年生から中学3年生まで）を実施し、医療に係る負担を軽減（対象者数 R2：549,074名、R3：540,128名） 幼児教育・保育の無償化の給付を受けていない、満3歳以上の幼児の保護者が負担する子育て施設等の利用料を支援（R3：延べ882名） 	 <p>兵庫県立こども病院</p>

【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	①推計値と合計特殊出生率との差	-	目標	-	0	0.03
			実績 (合計特殊出生率)	- (①1.41)	-0.01 (1.40)	-0.05 (1.36)
			評価	-	99.3%/B	96.5%/B
2	②周産期母子センター・周産期医療協力病院の指定数(累計)	箇所	目標	-	31	31
			実績	31	31	30
			評価	-	100%/A	96.8%/B
3	③院内助産・助産師外来の設置箇所数	箇所	目標	-	28	30
			実績	28	28	30
			評価	-	100%/A	100%/A
4	④里親登録者数	人	目標	-	464	509
			実績	403	433	478人
			評価	-	93.3%/B	93.9%/B
5	⑤児童のいる世帯のうち2人以上児童のいる世帯数割合	%	目標	-	-	-
			実績	54.3	-	-
			評価	-	-	-

項目3 子育て応援社会の形成

(1) 放課後等の居場所づくり

事例	放課後児童クラブの充実など子どもたちの居場所づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等通園児の小学校入学を機に保護者の仕事と育児の両立が困難となる「小1の壁」の解消を図るため、開設時間の延長等放課後児童クラブの機能を充実（R3時点累計開設数1,523箇所、R3年度利用児童数55,319人） ・ 令和2年度から、同クラブへのマスクや消毒液等の配布、感染防止用の備品購入に関する支援のほか、利用児童等の入退出の管理や、オンラインを活用した会議、研修受講に必要なICT機器の導入等の環境整備に関する支援を実施（R3は28市町へ補助） 	
	
放課後児童クラブの様子	

(2) 子育て環境を見守る地域づくり

事例	子育て支援拠点の整備などすべての子育て家庭を対象とした支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅で保育されている子どもや保護者が、保育所等でしつけや集団活動を学ぶ、「乳幼児子育て応援事業（0～2歳児）」や「わくわく保育所開設事業（3～5歳児）」を実施するなど、全ての子育て家庭を対象とした支援を実施 ・ 地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、支援機能の充実を図り、子どもの健やかな育ちを支援（地域子育て支援拠点数 R3 時点累計 353 箇所） ・ 令和3年度より、子育ての悩みや不安を抱え在宅で育児をする世帯をより積極的に支援するため、電話・LINE相談や、必要に応じて専門職による相談を実施（R3相談件数 138 件） 	
	
ひょうご子育て相談	

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	計画期間	
					R2	R3
1	①保育所・認定こども園等定員数(累計)	人	目標	-	115,000	118,000
			実績	115,268	119,108	121,964
			評価	-	103.6%/A	103.4%/A
2	②保育士・保育教諭、幼稚園教諭数	人	目標	-	【保育士・保育教諭】 20,200 【幼稚園教諭】 4,096	【保育士・保育教諭】 20,900 【幼稚園教諭】 4,054
			実績	19,684 (保育士・保育教諭) 4,140 (幼稚園教諭)	【保育士・保育教諭】 20,688 【幼稚園教諭】 4,045	【保育士・保育教諭】 (R4.12月) 【幼稚園教諭】 3,969
			評価	-	【保育士・保育教諭】 102.4%/A 【幼稚園教諭】 98.8%/B	【保育士・保育教諭】 - 【幼稚園教諭】 97.9%/B
3	③病児・病後児保育の不足量	人日	目標	-	需要均衡	需要均衡
			実績	▲20,570	▲60,779	▲65,698
			評価	-	-/A	-/A
4	④夫の育児・家事分担率	分	目標	-	-	R7年度までに120分
			実績	28.85	-	(R4.9月)

戦略4 自然増対策(健康長寿対策) (健康寿命延伸プログラム)

目標

- ① 平均寿命と健康寿命の差を縮める
- ② 運動を継続している人の割合を高める

戦略目標に対する評価

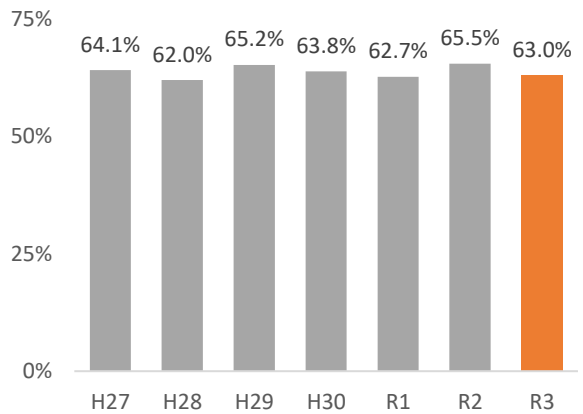
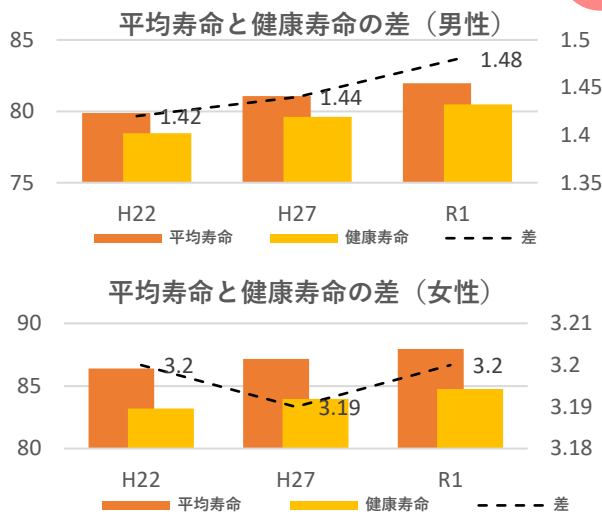
平均寿命と健康寿命は
ともに延伸するもその差は拡大

R1実績



運動を継続している人の
割合は概ね横ばい

R3実績



- ・平均寿命と健康寿命は男女いずれも延伸しているが、健康寿命の伸びを平均寿命が上回っており、今後も差が広がっていく（不健康な期間が延びる）ことが予想される。
- ・運動を継続している人の割合は63.0%と昨年度より2.5ポイント低下した。長期的にみても横ばいが続いている。



がん検診受診の啓発



健康データ関連利活用研修



ひょうご認知症希望大使の委嘱



住民主体の介護予防の取組 (宝塚市)



地域食堂事業の取組 (三田市)



フレイル対策の推進
(フレイルチェックアプリを用いた栄養相談)

重点目標 6 生涯元気に活躍できる兵庫をつくる


重点指標		単位	区分	(目標) R1	計画期間	
					R2	R3
1	がんによる 75 歳未満の年齢調整死亡率	%	目標	—	—	R5 年度までに全国平均より 5 % 低い状態
			実績	全国平均よりも 3.1% 低い状態 (国 70.0%、県 67.8)	全国平均よりも 0.9% 低い状態 (国 69.6%、県 69.0)	(R5.3 月)
			評価	—	—	—
2	朝食を食べる人の割合	%	目標	—	—	R6 年度までに【20 歳代男性】57% 以上 【20 歳代女性】76% 以上
			実績	【20 歳代男性】 ⑳51.4% 【20 歳代女性】 ㉑69.2%	【20 歳代男性】 57.1% 【20 歳代女性】 75.8%	【20 歳代男性】 47.0% 【20 歳代女性】 64.9%
			評価	—	—	—
3	認知症相談医療機関の登録数の拡大	箇所	目標	—	2,186 箇所	2,202 箇所
			実績	2,168 箇所	2,138 箇所	1,937 箇所
			評価	—	97.8%/B	87.9%/C
4	75 歳以上人口に占める要介護認定率	%	目標	—	—	R6 年度に 34.6%
			実績	34.3%	—	(R5.8)
			評価	—	—	—
5	高齢者(65 歳～74 歳)の有業率	%	目標	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
			実績	㉑32.7%	—	—
			評価	—	—	—

今後の取組方向


- がんによる年齢調整死亡率が H29 年時点から大きく変わっていないことから、健康診断等の受診を促進するとともに、生活習慣の改善促進による個人の主体的な取組を推進する。
- 高齢者になっても安心して暮らせるよう、市町と連携し、介護予防・重度化防止や認知症の予防、早期発見・早期治療の取組を推進するほか、ICT やロボットも活用し、地域で医療、介護、生活支援を総合的に提供する仕組みの構築を支援する。
- 年齢問わず高齢者がこれまで培った知識・スキル、経験を活かし、社会の担い手として活躍できるよう、多様な就業機会の確保や起業・創業の支援、生涯学習の機会提供を推進する。

項目1 健康づくりの推進

(1) 疾病の予防・早期発見・早期治療の推進

事例	がん検診の推進など疾病の予防・早期発見・早期治療の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・本県の実情に応じた循環器病対策を総合的・計画的に推進するため「兵庫県循環器病対策推進計画」を令和4年3月に策定 ・フレイル予防の重要性を認識し、予防・改善ができる県民を増やすため、「栄養（食事改善・口腔機能維持）、運動、社会参加」の3つのポイントに焦点をあてたフレイルチェックを実施（R2：393名、R3：6,564名） 	 <p>フレイル予防教室の様子</p>

(2) 生活習慣の改善促進

事例	生活習慣の改善促進
<ul style="list-style-type: none"> ・県民の健康寿命の延伸を目指し、健康づくりに関心の低い働き盛り世代の取組を促進するため、従業員やその家族の健康づくりに積極的に取り組もうとする企業に「健康づくりチャレンジ企業」への登録を促進（R2：1,866社、R3：2,012社） ・登録企業に対しては、健康情報の提供やメンタルヘルス対策に関する産業カウンセラー等の専門人材の派遣、がん検診・歯科健診受診促進や健康づくり機器等の購入費の一部助成などの取組支援を実施（企業のメンタルヘルス等推進事業実績 R2：142社、R3：150社） ・スマホ、スマートウォッチを活用した一人暮らし高齢者等の体調管理や保健指導等を通じて高齢者の健康管理を支援するモデル事業を実施（R2モデル市町：姫路市、洲本市、三田市、南あわじ市、多可町、香美町、R3モデル市町：明石市、小野市、播磨町） 	 <p>企業のメンタルヘルス等推進事業</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考)	(計画期間)	
				R1	R2	R3
1	特定健診受診率	%	目標	—	50	52
			実績	51.7	(R4 中)	(R5 中)
			評価	—	—	—
2	特定保健指導受診率	%	目標	—	20	25
			実績	20.1	(R4 中)	(R5 中)
			評価	—	—	—
3	がん検診受診率	%	目標	—	—	(R6 に 50%)
			実績	胃がん：36.8% 肺がん：44.6% 大腸がん：42.5% 子宮頸がん：39.1% 乳がん：42.1%	—	—
			評価	—	—	—
4	健康づくりチャレンジ企業登録数	社	目標	—	1,500	1,500
			実績	1,681	1,866	2,012
			評価	—	124.4%/A	134.1%/A

項目2 高齢者等誰もが安心して暮らせる環境整備

(1) 認知症対策の推進

事例	認知症予防・早期発見の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の早期発見・早期受診を促すため、地域での認知症支援体制を強化。特定健診・後期高齢者健診等の機会に認知症チェックシートを活用した認知症予防健診を実施する市町に財政支援（R2：1市町、R3：1市町） ・ 県内各市町と協力し認知症の身近な相談窓口として認知症相談センターを設置（令和4年3月末現在 254カ所）、同センター相談員や市町認知症支援担当者を対象に認知症の早期発見・早期対応研修を実施（R2：1回、R3：2回） ・ 令和3年9月から新たに、認知症と診断された方を「ひょうご認知症希望大使」として委嘱し、普及啓発活動や本人の意見を反映した施策の展開等を推進（R3：1人）



大使委嘱の様子
片山副知事（左）とひょうご認知症希望大使の古屋氏（中央）、大使の活動パートナーの北村氏（右）

(2) 高齢者の地域生活を支える体制の強化

事例	地域における介護予防・生活支援の取組支援
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が安心して暮らせる地域づくりの一環として、地域における介護予防・生活支援の取組を支援。住民主体の取組が、県内全域で展開されるよう、関係団体による介護予防・生活支援推進会議を開催。市町職員等を対象とした介護予防推進研修を実施。県内市町では、通いの場等での「いきいき百歳体操」等の住民主体の取組を推進 ・ フレイルハイリスク者に対する医療専門職によるアプローチを強化し、令和3年6月より、RoboWELL※を活用した筋力維持向上プログラムをモデル実施するなど、産官学の連携強化によるフレイル対策を推進（モデル地区：相生市等2市町）



住民主体の通いの場の取組



RoboWELL 体操ガイドを全市町へ送付


※RoboWELL：Robot等を活用した健康長寿を実現するための取組

【政策アウトカム指標】


	指標名	単位	区分	(参考) R1	(計画期間)	
					R2	R3
1	認知症相談センターの相談件数	件	目標	-	12,400	12,600
			実績	12,205	11,843	11,600
			評価	-	95.5%/B	92.1%/B
2	居宅サービス利用者数	人	目標	-	-	-
			実績	502,357	-	(R5.8月)
			評価	-	-	-
3	在宅看取り率	%	目標	-	27	28.8
			実績	28.2	30.6	(R4.10)
			評価	-	113.3%/A	-

項目3 元気高齢者の社会参加の促進


(1) 元気高齢者の社会参加の促進

事例	地域相互見守りモデル事業など高齢者の地域活動参加への支援
<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民が世代を問わず日頃から助け合いのできる地域コミュニティの構築に取り組む自治会や老人クラブ等を支援する地域相互見守りモデル事業を実施 (R2：8団体、R3：4団体に助成) 	 <p>介護予防体操</p>

(2) 定年退職後の高齢者の就業機会確保

事例	定年退職後の高齢者の就業機会確保
<ul style="list-style-type: none"> 定年退職後等の高齢者の多様な就業機会を確保するため、県内34のシルバー人材センターを指導・育成する(公社)兵庫県シルバー人材センター協会の運営を支援(会員数 R2：43,034、R3：41,262) 	 <p>会員拡大セミナーの様子</p>

(3) 高齢者の生涯学習支援

事例	定年退職後の高齢者の学習機会確保
<ul style="list-style-type: none"> いなみ野学園を中心に、高齢者の生涯学習の一環として、体系的な学習機会を提供(いなみ野学園:4年制高齢者大学講座・2年制大学院の開設、学生数約1,000名) いなみ野学園、阪神シニアカレッジに、学習成果を地域活動へ繋げる支援を行う地域活動支援センターを設置。活動への相談対応や地域団体とのマッチング等を実施(学生や卒業生のボランティアグループによる傾聴活動やふれあい喫茶の運営等) 	 <p>いなみ野学園講義風景</p>

【政策アウトカム指標】

	指標名	単位	区分	(参考) R1	(計画期間)	
					R2	R3
1	地域相互見守りモデル事業助成団体数	団体	目標	-	49	54
			実績	39	47	51
			評価	-	95.9%/B	94.4%/B
2	シルバー人材センター事業就業実人員数	人	目標	-	35,000	35,000
			実績	34,232	31,997	31,104
			評価	-	91.4%/B	88.9%/C
3	コミュニティ・ビジネスの起業団体数	団体	目標	-	150	150
			実績	129	104	99
			評価	-	69.3%/D	66%/D
4	シニア起業家支援の新事業創出数	件	目標	-	40	40
			実績	40	36	(R4.6月)
			評価	-	90%/B	-

地域プロジェクト・モデル

コロナ禍により多様化した働き方や暮らし方へのニーズの高まりや、大阪・関西万博の開催を契機に、地域の強みを活かした広域的かつ先進的な地域プロジェクトを推進

4 播磨歴史文化街道プロジェクト
—西播磨 中播磨 北播磨 東播磨—

- ・地域資源をつなぐ観光ルートの設定
- ・交流拠点の整備
- 滞在型・体験型ツーリズムの推進

2 地場産業を活かした若者女性集積プロジェクト
—北播磨 中播磨 西播磨 他—

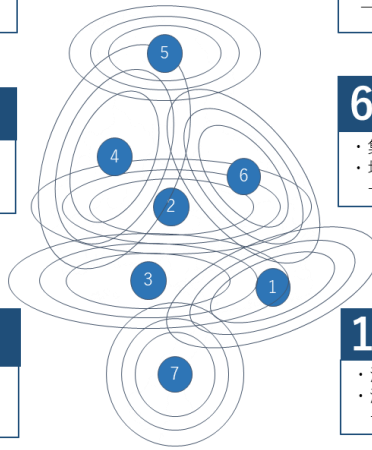
- ・若手人材の育成システムの確立
- ・産地共同開発の推進、製販一体体制の確立
- 世帯と直結したビジネス展開や独自ブランド開発

3 次世代産業を核とした地域振興プロジェクト
—西播磨 中播磨 東播磨 神戸 阪神南 阪神北—

- ・重工業、中小企業、県立大学等の産学連携
- ・SPring8、富岳等の先端科学技術基盤の活用
- オープン・イノベーションの仕組み構築、産業高度化

7 令和の「御食国」プロジェクト
—淡路 神戸 東播磨—

- ・農、食での若者の島内就業・起業の支援
- ・淡路島食材の新たなブランド化
- 日帰り型観光から滞在型観光への転換



5 リゾート・産業・文化を活かす「但馬7ヶ所プロジェクト」
—但馬 他—

- ・豊かな地域資源を生かしたリモートワークやワーケーションのモデルプロジェクトの展開
- 滞在人口の拡大と地域産業の新事業創造

6 二地域居住・都市農村交流推進プロジェクト
—丹波 他—

- ・集落での「地域まるごとホテル」の展開支援
- ・地域資源を活かした体験型コンテンツの提供
- 交流・関係人口の創出・拡大

1 阪神・淡路大交流プロジェクト
—阪神南 阪神北 神戸 淡路—

- ・滞在・集客施設の設置、MICE機能の集積
- ・海上交通の整備
- 集客・交流エリアとしての発展

8 多自然地域一日生活圈維持プロジェクト
—多自然地域—

- ・地域住民サービス拠点の整備、
- ・ドローンによる貨物配達、自動運転バスの導入
- 地域コミュニティの再構築

※8の「多自然地域1日生活圈維持プロジェクト」は、多自然地域で展開

1 阪神・淡路大交流プロジェクト

展開エリア 阪神南・北～神戸～淡路

○ 大阪湾海上交通の実証実験の実施

令和3年11月、大阪・関西万博による国内外からの誘客拡大を見据え、大阪から兵庫への新たな人の流れをつくるため、海上交通の実証実験



大阪湾海上交通の実証実験 bohboh KOBE (ポーポーコウベ)

を実施。神戸から大阪までの距離感や所要時間、海上交通のニーズ、国際会議の誘致等を拡大するクルージングMICEの可能性などを調査。

○ 大阪・関西万博を見据えた

新たな公共交通モデルの調査研究

携帯電話の位置情報ビッグデータを活用し、大阪・関西万博会場間の開催を想定した新たな海上交通導入モデルを分析。広域的な観光需要に及ぼす影響について検証。(令和4年3月報告)

○ 大阪湾ベイエリア構想分科会による政策提言

これまで関西圏の自治体で進められてきた構想を踏まえ、産学官で構成する「大阪湾ベイエリア構想分科会(事務局:ひょうご震災記念21世紀研究機構)」を設置。人や知の集積を図る大交流圏形成に向けた政策提言をとりまとめ、令和3年2月に、その成果を発表する「大阪湾ベイエリア構想分科会公開フォーラム」を開催。(参加者約100名)



大阪湾ベイエリア構想分科会フォーラムの実施

【主な政策提言項目】

- ① 世界的な一大集客・交流ゾーンへ
- ② 知識集約型社会のグローバル・ハブへ
- ③ 第二層都市の機能向上と郊外再生
- ④ 圏域経営—推進手法・体制—

2 地場産業を活かした若者・女性集積プロジェクト 展開エリア 北・中・西播磨・その他地場産地

○ 地場産業の魅力体験ツアーの実施

ファッション系の大学・専門学生等を対象に、地場産業の職場や暮らしを体験する1泊2日のツアーを北播磨地域で実施(10名参加)。現地での地場産業体験や、移住者・播州織クリエイターとの交流会、ワークショップ等により、地域の魅力を発信し、定住・交流人口の拡大を促進。



バスツアーの案内

デザイナー玉木新雄氏のLab見学

○ 大学生インターンシップの推進

中小企業の人材確保を図るため、商工会や経営者協会等と連携し、大学生等を対象にしたインターンシップを実施。(R2・3参加者数760人)

○ ひょうごで暮らす！体験キャンペーン

令和2年10月から、主に都市部の従業者を対象に、県有宿泊施設等を活用したおためし移住やテレワークに係る経費の一部を支援。(R3年度参加者数27人)



「休みか仕事か」ではなく、「休みも仕事も」という選択肢を。ひょうごで暮らす！体験キャンペーン

○ 地場産業ブランド力の強化

地場産業組合等が実施する産地ブランドの確立・競争力強化や国内外の販路開拓及びそれらを支える人材育成事業を支援。(R3補助件数13件)



神戸シューズのデジタルカタログ

豊岡かぼんイベント (R3.11月:KITTE丸の内)

3 次世代産業を核とした地域振興プロジェクト 展開エリア 西・中・東播磨(神戸・阪神南・北)

○ 成長産業育成コンソーシアムの推進

次世代成長産業として期待される分野(ロボット・AI・IoT、航空・宇宙、環境・エネルギー、健康・医療)におけるイノベーション創出を促進するため、新産業創造研究機構(NIRO)を中心に、県内企業、大学・研究機関等で構成する分野別のコンソーシアムを設置。参加者間のマッチングや競争的資金の獲得、企業の個別課題解決への支援を実施。



ネットワーキング交流会

○ 成長産業育成のための研究開発への支援

次世代産業分野の事業拡大・新規参入を促進するため、産学官連携による本格的な研究への移行を目指す萌芽的な研究プロジェクトを支援。

・R2年度終了プロジェクト(24件)実績

国等のプロジェクトへ移行	4
実用化・商品化	2
特許を出願したプロジェクト	9
※1プロジェクトで複数件の出願あり	

・R3年度採択プロジェクト数42件

○ 兵庫県地域活性化雇用創造プロジェクト

次世代産業分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進する「次世代産業DX・人材育成プロジェクト」、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減少など大きな影響を受けている製造業を対象とした「ものづくり企業多角化促進・人材育成プロジェクト」を推進。県産業の生産性・競争力の強化や、多角化による受注機会の増による新たな雇用機会の確保を図るとともに、DX推進による業務の見直し等を進めることにより良質な雇用を創出。(プロジェクト参加登録企業874社〈R4.4.1現在〉)

○ 先端技術人材集積促進事業

計算科学やAI等の先端技術に係る県外高度人材と県内産業界・研究機関等との人材交流や、スーパーコンピュータ「富岳」と同じCPUを搭載した「ミニ富岳」を活用した県内技術者人材育成事業等により、イノベーションの核となる先端技術人材の県内集積を促進。(2021年度人材交流・育成事業参加者692人)



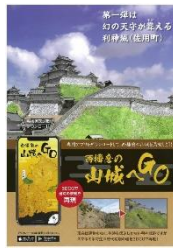
スーパーコンピュータ「富岳」

4 播磨歴史文化回廊プロジェクト

展開エリア 西播磨(中播磨・但馬・その他多自然地域)

○ 西播磨に点在する歴史遺産を3DCG化

令和2年8月にスマートフォン向けAR(拡張現実)アプリ「西播磨の山城へGO」をリリース。AR技術やGPS技術を活用し、かつての山城の姿を3DCGで体験可能にするとともに、歴史と自然を満喫できる「デジタルスタンプラリー」を開催し、地域の活性化を促進。



ARアプリ「西播磨の山城へGO」

○ バリエティに富んだ体験型ツアーの実施

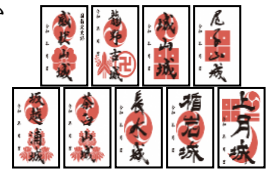
アクセスが困難な山城を観光バスで巡るモニターバスツアーを開催(R2・3年度22回)。登山後は、伝統文化体験や城下町の散策など、西播磨の歴史を満喫できるメニューで、地域への誘客を促進。



山城ガイドの解説付きモニターバスツアー

○ 西播磨の山城「御城印」の販売開始

山城登山道の維持管理にかかる財源確保のため、2021年4月より、西播磨の重要な伝統産業である「皆田和紙」を使用した御城印を各城500枚限定で販売。半年足らずのうちに複数の城で完売。



皆田和紙製の御城印

○ 「銀の馬車道 鉱石の道」推進プロジェクト

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」にゆかりのあるフランスとの交流や、沿線の主要な箇所に馬車模型を製作・設置することにより、地域内外からの来訪者及び観光客の誘客を促進。



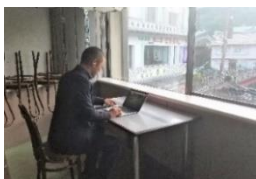
姫路市に設置した馬車模型

5 リゾート・産業・文化を活かす「但馬ワークスペース・プロジェクト」

展開エリア 但馬(その他多自然地域)

○ 地域資源を活用したワーケーションの推進に向けたワーケーションファムトリップの実施

令和3年10月に、新温泉町(湯村温泉)において、首都圏から様々な分野で発信力のある企業・団体等14名を招聘し、ワークスペース候補地や地域資源等の視察を通じ、但馬地域でのワーケーション誘致を促進するファムトリップを実施。



荒湯観光センターのワークスペース



県立但馬牧場公園

○ 新温泉町版ワーケーションの理解促進のためのフォーラムの開催

令和4年2月、ワーケーション推進地域での機運醸成を図るため、「新温泉町ワーケーションフォーラム」を開催。起業家や自治体関係者14名がワーケーション拠点の開設、地元住民との商品づくりなど取組事例を発表。(120名参加)



フォーラムの開催

○ 2021ワーク・ライフ・バランス神戸セミナーの開催

令和3年10月に、約100名の参加者と共に新しい働き方の可能性を検討するため、モバイルワークやサテライトオフィスでの勤務に加え、ワーケーションに着目したセミナーを開催。



セミナーのチラシ

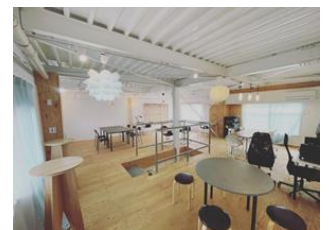
○ コワーキングスペースの開設支援

地元の起業家のほか、京阪神や関東圏から来られる方も利用できる coworking space「LOVE TOYOOKA」を整備。(R3整備、R4.4開設)



「LOVE TOYOOKA」建物外観

毎月イベントを開催することで、多彩な人と交流できる環境作りを行うとともに、インキュベーション機能により、起業家の成長を後押し。



「LOVE TOYOOKA」 coworkingスペース

○ 買い物困難地域の解消に向けた地域運営の「にこにこマーケット」がオープン(宍粟市波賀町)

地域の生活を支えていた唯一のスーパーが閉店し、不便を感じていた住民が立ち上がり、令和2年12月に自らが運営する「にこにこマーケット」の開設を支援。日常生活品の購買店に加えて、カフェスペースを設け住民の交流拠点機能を確保するとともにマルシェ開催等のイベントも実施。また、運営費の確保に向けて住民等から協賛金を募るなど、住民主体の地域づくり活動を展開。



にこにこマーケット
グランドオープン式典



にこにこマーケット店内の様子

○ ドローン輸送実証実験

非効率な輸配送や買い物弱者等の課題解決に向けて、大阪市立大学と都市防災教育センター(CERD)との連携により、ドローンによる食料品や医薬品の輸送実験実施(R2実施市町:猪名川町、宍粟市)。また、スピーカーやズームカメラ搭載ドローンによる集落見守りや12kmの長距離輸送の実証実験を実施。(R3:3回)



スピーカー搭載ドローン

○ 県内初マルチワークに取り組む組合を認定

令和4年4月に県内初となる香美町、淡路市のマルチワークに取り組む特定地域づくり事業協同組合を認定することを決定。安定した年間雇用を創出することで、地域内若者の働き場所等を確保し、地域づくり人材を確保。



香美町地域づくり事業協同組合の
認定証交付(令和4年4月)

7 二地域居住・都市農村交流推進プロジェクト

○ 古民家再生促進支援事業

伝統的木造建築技術の維持・継承、自然環境や地域景観と調和した持続可能なまちづくり・地域づくり支援を目的として、古民家再生の促進を支援。柏原市街地にある古民家を全面改修し、店舗兼移住体験住宅に再生。



店舗兼移住体験住宅

○ 移住・環流プロジェクトの推進

都市部の若者や子育て世帯とのネットワークの拡大を図るとともに、「たんば暮らしお試し滞在」の実施(R2・3利用者288名)や各種イベントの充実などを通じて地域を知る機会を提供し、移住・環流を促進。



お試し滞在の実施



対面型イベントの開催

○ 空き家活用支援事業

空き家を活用した移住や起業を促進するため、空き家を改修し、住宅、事業所又は地域交流拠点として活用する場合の費用の一部を補助。

- ・多可町 R2年度地域交流拠点型
黒大豆を使用した地域特産品の開発や、豆腐等の販売店として空き家を改修
- ・丹波篠山市 R3年度事業所型
アジア諸国での教育支援事業、生活改善事業及び国内外での被災地復興支援事業を行うNPOの事業所として改修

○ 恐竜化石フィールドミュージアムの推進

QRコードを使った「たんば恐竜街道モバイルスタンプラリー」(参加者936名)や、「出張化石発掘体験会」(13箇所、参加者514名)の実施により、都市との交流を推進。



モバイルスタンプラリー
スタンプスポット



出張化石発掘体験会
(県立舞子公園)

○ 淡路の食に関する調査・分析事業

食に関係する観光施設、飲食店、宿泊事業者等へのアンケート等による淡路島の食に関する現状調査を実施し、課題を分析。(ヒアリング調査11名、WEBアンケート調査 2,072名)

○ 「美食の島あわじ」の実現

淡路の食の目指す姿を「365日毎日旨い淡路島『四季折々の島料理(人)』」とし、高級志向のブランディングを実施。フードライター自らが覆面調査を実施して選定した鮭3店をストーリー立てで紹介したパンフレット・WEBページを制作。



制作した鮭屋のパンフレット



WEB トップページ

○ 兵庫五国の観光協会等と連携した体験・周遊滞在型ツアー造成事業の実施

「9つの日本遺産」「御食国ひょうご」「芸術・文化体験」「六甲山の観光活用」「瀬戸内クルーズ」などを重点テーマに、五国の魅力を満喫する体験コンテンツの開発、国内外の旅行会社を活用したツアー商品化・販売促進を展開。淡路では、食材を核に産地の風土を味わい生産者と交流する「食文化」滞在をテーマにした「御食つ国ひょうご」を展開。(R3：32件)

○ インバウンド観光の情報発信力強化

外国人が日本旅行を検討する際によく利用される「JAPAN Monthly Web Magazine」にPR記事を掲載し、欧米豪・アジアに広く観光情報を発信。



JAPAN Monthly Web Magazineのホームページ